防災行政無線自動受信

防災ラジオ

取扱説明書・保証書

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

機器を正しく安全にお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

■主な特長
・防災行政無線の放送が開始されると自動的に動作し受信
・緊急インジケーターを装備し、防災行政無線の受信状態を表示
・声の帯域を重視したスピーカーと、音響特性を考慮した設計により明瞭な音を実現
・ACアダプター使用時でも停電になると自動的に電池に切換
・AM/FMラジオと照明ランプを装備

本機自体で災害による被害の予防や、損害を回避するものではありません。
従いまして、本機の使用または不具合により、万一、損害が生じた場合でも、一切その責任を負わないものとしますので、ご了承ください。

©2009 Funayama Co.ltd Printed in China P-124-132-01

保証書

本書は本書記載内容（下記記載）で無料修理をお約束するものです。
取扱説明書に従った正常な使用状態にて保証期間内に故障した場合、本保証書を添えて、裏面下部の弊社窓口にご持参くだされば、無料修理いたします。

品名 ： 防災行政無線自動受信 防災ラジオ

保証期間 ： 配布年月より１年間

※以下はお客様が記載してください。
お客様 配布年月： 年 月
住所 ：

電話番号：
お名前 ：

■次の場合は保証期間内でも有料とさせていただきます。
(1) 保証書のご提示がない場合
(2) 保証期間の記載がない場合、および保証書の字句を書きかえた場合
(3) 裏面下部の弊社窓口以外に修理をご依頼の場合
(4) 落下、移設、輸送などにより受けた衝撃による故障および損傷
(5) 使用上の誤りや、他の機器から受けた故障および損傷
(6) 不当な修理や改造による故障および損傷
(7) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷
(8) 消耗、磨耗した部品の交換
(9) ご使用中に生じた傷、変色など外観上の変化
(10) オプションの室内アンテナ
■修理品の受付、お引き渡しは裏面下部の弊社窓口にて行ないます。
■送料が必要な場合は、実費をお客様にてご負担願います。
■出張修理は行なっておりません。
■この保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
■この保証書は日本国内においてのみ有効です。
The warranty is valid only in japan.
■この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証とアフターサービス

■保証書
所定事項の記入および記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証期間は製品の配布年月より１年間です。

■修理を依頼されるとき
この取扱説明書をもう一度ご覧になって確認のあと、直らない場合は電源プラグと電池を抜き、下記のように修理をご依頼ください。

■保証期間中の修理
保証書を添え裏面下部の弊社窓口にご持参くだされば、保証書の記載内容に基づいて無料修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理
補修用性能部品の保有期間中、裏面下部の弊社窓口にご持参くだされば、修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理いたします。ただし、修理料金が配布時の金額より高額になることがありますのでご了承ください。

■部品の保有期間
補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後６年間保有しています。

■市外に転居された場合
防災行政無線の受信はできませんが、AM/FMラジオとして使用できます。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防ぐためのものですので、必ずお守りください。

■「警告」「注意」表示の意味
誤った取り扱いをすると生じることが想定される、危害や損害の程度と内容を明示するために、「警告」と「注意」に区分して記載しています。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

■記号表示の意味
取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

⚠ このような記号は、注意してくださいという「注意」の内容です。

⃠ このような記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

❗ このような記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠警告

電池は誤った使いかたをしない
発熱、発火、破裂、液漏れなどにより火災や大けがの原因となります。
・電池は乳幼児の手の届くところに置かない。
万が一飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
⃠ ・＋（プラス）と －（マイナス）を逆に入れない。
・加熱や分解したり、水などの液体や火の中に入れない。充電しない。
・ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
・液漏れした電池、被覆のはがれた電池は使わない。
・使用した電池を使わない、種類の違う電池を混ぜて使わない。

電池が液漏れしたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする
・液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、
❗ すぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
・液が身体や衣服についたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗ったあと医師にご相談ください。

使いきった電池はすぐに取り外す
❗ そのまま機器の中に放置すると、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

内部に水や異物を落とさない
⃠ 火災や感電の原因になります。機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

雷が鳴りだしたら、アンテナやラジオ本体、ACアダプターにさわらない
⃠ 感電の原因となります。屋外で使用しているときは落雷を避けるため、すぐにアンテナを折りたたんで使用を中止し、さわらないでください。

濡れた手でACアダプターにさわらない
⃠ 感電の原因となります。

ACアダプター・ACアダプターのケーブルを傷つけない
火災や感電の原因になります。
・加工したり傷つけたりしない。落とさない。
⃠ ・重いものをのせない。引っ張らない。
・熱器具に近づけない。加熱しない。
・ACアダプターを抜くときにケーブルを引っ張らない。
・ACアダプター・ケーブルが痛んだときは使用しない。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所に置かない
⃠ 火災や感電の原因になります。
とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

ACアダプターは根元まで確実に差し込み、ほこりを定期的にとる
❗ 火災や感電の原因になります。

付属のACアダプター以外は使用しない
⃠ 火災や感電、故障の原因になります。

異常があったときはACアダプター・電池を抜く
❗ 火災や感電の原因になります。ラジオ本体、ACアダプターから発熱・煙・異臭などがするときは直ちにACアダプター・電池を抜いてください。

交流100V以外およびコンセントや配線器具の定格を超えて使用しない
⃠ 火災や感電の原因になります。
日本国内専用なので海外では使用しないでください。

分解・改造をしない
⃠ 感電および故障の原因になります。

⚠注意

お手入れのとき、移動のとき、長時間使わないときはACアダプターを抜く
火災や故障、けがの原因になります。また移動のときは、目のけがなどをしないようにアンテナは折りたたんでください。長時間使わないときは安全のためACアダプターを抜いてください。

長時間使わないときときは電池を抜く
❗ 液漏れ、発熱、発火、破裂などを起こし火災や周囲汚損の原因になります。

イヤホン使用時は音量を上げすぎない
⃠ 聴力に悪い影響を与える原因になります。

使用上のご注意

■使用場所について

電池の寿命が短くなったり、故障の原因となりますので、下記のような場所では使わないでください。

・温度が非常に高い場所（40℃以上）や低い場所（0℃以下）。
・直射日光が当たる場所、暖房器具の近く。
・風呂場など湿気の多い場所、ほこりの多い場所、調理場など多くの油を使う場所。

受信状態が悪くなることがありますので、下記の場所を避けて使用してください。

・テレビ、パソコンなどの電化製品、携帯電話、金属製品の近く。
・地下や窓から離れた場所、ペアガラスやワイヤーの入ったガラス窓の窓際。

■取り扱いについて

・落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因となります。
・キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカードを近づけないでください。カードの磁気が変化して使えなくなることがあります。

■電池について

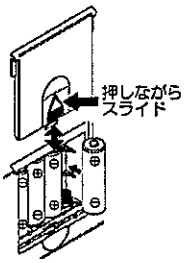
・必ず新品の単三形アルカリ乾電池を使用してください。
・液漏れすることがありますので１年に１回、定期的に交換してください。
・電池を消費しないよう、通常はACアダプターを使用してください。
・災害に備えて、予備の電池を準備してください。

■お手入れについて

汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。

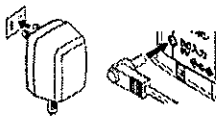
電源を準備する

①音量/電源つまみを回して電源を「切」にします。



②電池ふたを押しながらスライドして取り外し、単三形アルカリ乾電池４本を電池ホルダーの＋・－表示に合わせて入れます。

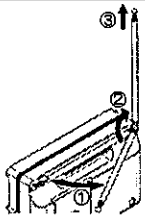
③電池ふたを元どおりに閉めます。



④付属のACアダプターをコンセントに差し込み、ACアダプターのプラグをラジオのDC入力端子に差し込みます。

※ ACアダプター使用時でも、停電のときは電池に自動的に切り替わります。
※ 電池は液漏れすることがありますので１年に１回、定期的に交換してください。

アンテナを伸ばす

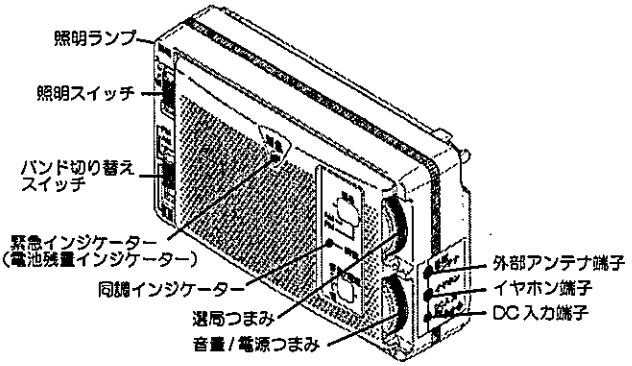


ラジオを使用するときは、①～③の順番に従ってアンテナを必ず垂直に伸ばしきってください。ラジオを移動するときは逆の順序で必ず折りたたんでください。

※ AMラジオは本体内部のアンテナで受信していますので、本体を回転させ受信状態の良い方向に向けてください。

防災行政無線を聞く

①バンド切り替えスイッチを「防災放送」にします。
②音量/電源つまみを回して電源を入れます。電源が入ると緊急インジケーターが緑色に点灯し、防災行政無線の受信待機状態になります。
③放送が開始されると、緊急インジケーターが赤色に点灯し受信します。
④音量/電源つまみを回して音量を調整します。



※ 電池の残量が少なくなると緊急インジケーターが緑色で点滅しますので、電池を交換してください。電池が入っていないときも同様に点滅しますので、電池を入れてください。
※ AM/FMラジオを聞かないときは、常時この状態にしてください。
※ 停電の場合でも防災行政無線の受信待機状態では約７日間動作します。
※ 防災行政無線は音量が絞られていても聞くことができます。

AM・FM放送を聞く

①バンド切り替えスイッチを「AM」または「FM」にします。
②音量/電源つまみを回し電源を入れます。電源が入ると緊急インジケーターが緑色に点灯します。
③選局つまみを回し選局します。放送を受信すると同調インジケーターが点灯します。
④音量/電源つまみを回して音量を調整します。

※ 防災行政無線の放送が開始されると、自動的に防災行政無線に切り替わります。
※ 電池の残量が少なくなると緊急インジケーターが緑色で点滅しますので、電池を交換してください。電池が入っていないときも同様に点滅しますので、電池を入れてください。

イヤホンで聞く

イヤホン端子にイヤホンを接続します。イヤホンを接続するとスピーカーから音は出なくなります。イヤホンはΦ3.5mmミニプラグであれば、モノラルとステレオ、どちらのタイプでも使用できます。

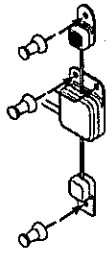
※ステレオのイヤホンを使用しても音はモノラルになります。

照明を使う

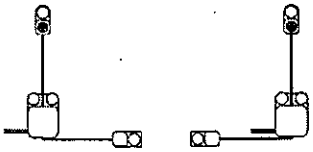
照明スイッチを「入」にすると照明が点灯します。

室内アンテナ（オプション）の使い方

防災行政無線の受信状態が悪いときは、オプションの室内アンテナの使用をお勧めします。防災行政無線の送信局に近い窓際などへ下記のように設置してください。



「＋」表示側を上にして垂直に画びょうなどで固定し、ラジオ本体の外部アンテナ端子に接続します。垂直にできないときは、下側を右もしくは左に曲げてＬ字型に設置してください。



※ 受信状態が悪くなりますので、余ったケーブルはなるべくのばしてください。
※ 屋外に設置すると耐用年数が短くなることがあります。

主な仕様

■防災ラジオ

受信周波数	FM：76～90MHz　AM：526～1605kHz 防災行政無線：60MHz帯のうち１周波数固定
実用最大出力	300mW（スピーカー出力、JEITA）
イヤホン端子	Φ3.5mmミニジャック
外部アンテナ端子	Φ3.5mmミニジャック
電源	ACアダプター（付属），単三形アルカリ乾電池４本（付属）
電池寿命	防災無線受信待機状態　：約170時間 AM/FMラジオ使用時　：約44時間（JEITA）
大きさ	192mm×116mm×65mm（幅/高さ/奥行）
本体質量	約640g（電池を含む）
付属品	ACアダプター，取扱説明書

■室内アンテナ（オプション）

アンテナ形式	ダイポール形
接続ケーブル長	10m
接続プラグ	Φ3.5mmミニプラグ

※外観・仕様は改良のため予告無く変更することがあります。

故障と思われたときは

修理の前に、次のことをご確認ください。

■電源が入らない
・電池の＋・－が逆になっている。電池が消耗している。
・ACアダプターをコンセントおよびラジオ本体にしっかり差し込む。
・音量/電源つまみが「切」に設定されている。

■音がまったく聞こえない
・イヤホン端子にイヤホンが接続されている。
・音量/電源つまみで音量が最小になっている。

■防災行政無線・AM/FMラジオが受信できない、雑音が入る
・アンテナを垂直に伸ばしきる。
・防災行政無線の送信局に近い窓際で使用する。
・テレビ、パソコンなどの電化製品、携帯電話、金属製品から離す。
・AMラジオは本体を回転させ受信状態の良い方向に向ける。

※無線機を積んだ車両が近くを通過したときなどに雑音が入ることがあります。
※症状が改善されないときはオプションの室内アンテナの使用をお勧めします。

船山株式会社
東京本店　〒104-0052 東京都中央区月島 2-20-15
TEL 03-3532-3601　FAX 03-3532-1119
本　社　〒940-8577 新潟県長岡市稲保 4-713-2
TEL 0258-25-2780
新潟支店　〒950-0863 新潟県新潟市東区卸新町 3-51-29
TEL 025-275-3155
フリーダイヤル　0120-119-067